

Flattening Filter Free(FFF)ビームを用いた強度変調放射線治療におけるマルチリーフコリメーターの品質管理に関する研究

奈良県立医科大学附属病院で放射線治療を受けられた患者様へ

<研究の内容、方法、使用するデータ>

この研究は、2014年1月1日から2014年12月31日以降に奈良県立医科大学附属病院で強度変調放射線治療を受けられた患者さんを対象としています。

強度変調放射線治療は多くの方向から放射線の強度を変えて照射する方法で、通常の放射線治療と比べて、腫瘍の周囲にある正常組織への線量を減らすことが可能です。放射線治療ではX線が照射される範囲を設定するために、マルチリーフコリメーターという金属を使用しますが、強度変調放射線治療ではX線を照射しながらマルチリーフコリメーターを動かすことで、X線の強度を変えています。本研究ではマルチリーフコリメーターの位置に誤差が生じた場合に、腫瘍や周囲の正常組織に照射される線量がどのように変わるかを調べます。近年、X線照射野内を均一に照射するためのフラットニングフィルターという部品を外して、X線の出力を上げる照射法が提案されていますが、本研究ではこのフィルターを外した状態でも検討を行います。

この研究で使用するデータは通常の診療業務で取得されるデータであり、個々の患者さんの治療や検査等に影響を与えることは一切なく、研究の為に治療や検査等を行うこともありません。なお、本研究は本学の医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得ています。

<個人情報保護の保護>

この研究では放射線治療計画の画像や照射される線量のデータを個人名がわからないようにして(匿名化)利用します。患者個人情報を含むファイルは暗号化した上で厳重に管理し、集められたデータから患者が特定できないよう配慮します。氏名が外部に漏れることがないように十分注意して行われ、プライバシーの保護について細心の注意が払われます。

データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に不利益などが一切生じないように、以下のことを厳守いたします。

- ・医学研究以外には使用しない。
- ・患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報は厳密に守秘する。
- ・研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない。

<研究への不同意の場合等の連絡先>

ご自身のデータをこの研究に使用して欲しくないとお考えの患者さんあるいはそのご家族は、以下の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。

研究責任者：奈良県立医科大学 医学部 放射線腫瘍医学講座 助教 若井 展英

住所：〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

電話：0744-22-3051（代表）、3473（内線）